

## 2学期を振り返り、自分自身の「現在地」を確かめる

いよいよ令和7年もあと3週間あまりとなり、来週15日（月）から三者懇談会が始まります。今学期、みなさんは生徒会の今年度の目標である「Your Place～明日も来たい附属中～」実現に向けて、校外学習や修学旅行、友嬉祭などで自分の役割をしっかりと果たし、頑張れたと思いますが、この時期に2学期を振り返り、自分の「学び」や「挑戦」取り組みの現在地について、見つめ直してみてください。

各学年の友嬉祭の振り返りと2学期生活の振り返りには「キュレーションの内容はとてもよかったけど、見学時間が少なかったので、来年は工夫したい」「友嬉祭当日の動きが曖昧だったので指示待ちではなく、自ら求めに行くような姿勢を意識したい」「トイレのスリッパをそろえること、笑顔で接することを心掛け、学校が居心地のいい居場所になるように気をつけている」という記述がありました。どの振り返りも、反省をいかす姿勢、仲間づくりと絆づくりの意識があり、とても頼もしく思いました。

さあ、3年生はこれから進路選択を具体化していきます。これまでの探究学習や取り組みで培ってきた経験をいかして、自分の目標を実現していきましょう。2年生は「SDGsのプレゼン」に取り組んだ経験をいかし、来年の修学旅行や進路選択に向かっていく自分を想像してみてください。1年生は仲間づくりの取組をいかし、互いの違いを認め合いながら、自分も周りも大切に作る学校生活を積み上げていきましょう。

## 自分たちでつくりあげていく生徒会 ～生徒会役員選挙～

12月4日（木）に生徒会役員選挙を行いました。選挙活動期間中には、立候補者が自身の公約等を積極的に発信していました。私からは次のようなメッセージを伝えました。

立候補者のみなさん、落ち着いて、頑張ってください。この間、選挙管理委員会を中心に公平で意味のある選挙にするため、熱い思いで取り組んでくれたと聞いています。選挙では当選する人もいれば、惜しくも残念な結果となってしまふ人もいます。しかし、それでも立候補し、附属中をよりよくしていきたいという思いは素晴らしいと思います。当選者だけでなく、附属中生全員でその思いを受け止めていきましょう。

さて、平成28年に公職選挙法が改訂され、選挙に投票できる年齢が満18歳に引き下げられました。しかし、この間、若い世代の投票率が低いと言われ続けています。世の中でも、附属中でも同じですが、やりたいことや何か変えたいと思うことがあるのなら、まずはきちんと信頼できる代表者を選挙で選ぶこと。実現したいことが大きなことであればあるほど、その人を中心にして「できないではなく、できるようにするためには、どうすればよいか」を共に考え、行動していくしかありません。もちろん、選挙で選ばば、やりたいことが全て実現できるわけでもありません。なぜなら、実現までの道筋も必要だし、予算や安全面への配慮、先生方や保護者の同意が必要なことだってあるからです。だからこ



そ、それを乗り越えていく丁寧さとしなやかさ、計画性を持ってください。昨今、世の中の風潮として、思ったことが実現できない時や自分にとって気に入らないことがあると、単に文句や不満を言う。匿名であるのをいいことに、SNSなどに心ない書き込みや批判をするだけで終わってしまう人が増えてきています。でも、みなさんには、決してそんな卑怯な生き方ではなく、何事も自分事として捉えて、相手意識をもちながら、力を合わせて行動して欲しいと願っています。附属中をもっといい学校にしていけるためには、今日選ぶ生徒会役員と一緒に、全校のみなさんで力を合わせる必要があります。どうか、誰か任せにするだけでなく、自分自身の役割をきちんと果たし、そばにいる仲間を信頼し、知恵を出し合い、頑張ってほしいと思います。期待しています。

また、以下は立会演説会に先立って、選挙管理委員長から全校生徒への言葉（抜粋）です。

選挙は本校の代表を選ぶ特別な機会です。学校を引っ張っていく中心的存在を明確にします。選挙で選ぶからこそ、代表者の自覚と責任感が強まり「より良い」学校づくりが進みます。全校生徒が選挙「政治参加」に触れる機会でもあります。生徒全員で選ぶからこそ、「生徒会の一員」を自覚し、専門部会での自分の活動に責任が生まれます。立候補者にとっては、ルールや「締め切りや時間」を意識して行動することで、決められたものに対して時間に余裕を持ち行動する力を育てることにつながるし、社会に出るための練習にもなります。投票する人にとっても、個々の意見を尊重し、同調圧力や強要などの他人の意見を害するような行動を見直し、「色々な意見を解釈し理解する」ことにつながります。最後に、選挙に対する選挙管理委員の思いを伝えます。立候補者に対して、温かい雰囲気や良い関係を築いてほしいと思います。選挙に「慣れている人」はいません。「緊張や不安」が心の中にある人もいるかもしれません。それでも学校のために立候補した思いを精一杯伝えてほしいと思います。投票する人も、立候補した人が安心して自分の思いを伝えられる環境を作してほしいと思います。そのためには皆さんのご協力が必要です。



## 教育講演会 ～「未来に生きる子どもたちに必要な力とは」～

11月21日（金）に小中学校PTA 合同で教育講演会を開催しました。今回は徳島県にある「神山まると高専」の五十棲校長先生と大西さんにご講演いただきました。お二人からはご自身の経験にも触れながら「好奇心を持ち続けること。自分が楽しいと思えることを軸に考えること。『名詞』（職業）ではなく『動詞』（したいこと）で、自分を捉えることの重要性。1000分の1の希少性をめざすことの大切さ」などのお話があり、小中学生とも真剣に聞き入っていました。ご参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

## 幼・小・中合同不審者対応避難訓練

加東市警察のご協力のもと、不審者侵入に対応する避難訓練を行いました。生徒からは「落ち着いて動けると思っていたが、実際にやってみると心が焦り、周りの状況をよく見られなくなることがわかり、いざという時に落ち着いて行動できるようにしたい。」といった感想がありました。



### 【12月の行事予定】

15(月)～19(金) 三者懇談会  
23(火) 終業式、生徒会引継式  
24(水)～1/6(火) 冬期休業



### 【1月の行事予定】

7(水) 始業式  
17(土) 令和8年度入学者選抜試験  
19(月) 1・2年実力テスト  
31(土) 研究発表大会